



秋田県信用組合から、子どもたちの将来に役立つ図書の購入に充ててほしいというご希望で、秋田市立図書館に100万円の寄附金をいただきました。

図書館では、大型絵本や紙芝居、



秋田県信用組合から、子どもたちの将来に役立つ図書の購入に充ててほしいというご希望で、秋田市立図書館に100万円の寄附金をいただきました。

図書館では、大型絵本や紙芝居、

秋田県信用組合から、子どもたちの将来に役立つ図書の購入に充ててほしいというご希望で、秋田市立図書館に100万円の寄附金をいただきました。

秋田県信用組合から、子どもたちの将来に役立つ図書の購入に充ててほしいというご希望で、秋田市立図書館に100万円の寄附金をいただきました。



秋田県信用組合から、子どもたちの将来に役立つ図書の購入に充ててほしいというご希望で、秋田市立図書館に100万円の寄附金をいただきました。

秋田県信用組合から、子どもたちの将来に役立つ図書の購入に充ててほしいというご希望で、秋田市立図書館に100万円の寄附金をいただきました。

子どもたちの将来に役立つ本を！

～秋田県信用組合から寄附金をいただきました～

明
徳
館
図
書
館
ほくとライブラリー明徳館
図書館だより
第85号
発行 令和2年3月21日
秋田市立中央図書館明徳館
秋田市千秋明徳町4番4号
電話 832-9220

ある土曜日の午後、明徳館に来てみたう…

車を降りた時から早足だつた子どもは、まっすぐおはなし会がはじまる児童コーナーへ。私は新着コーナーを物色しながら小説の棚へ向かう途中で立ち止まる。企画展示のテーマは「心のメンテナンス」。たまにはノンフィクションも悪くないな、と気になる本を取り、近くの椅子に腰かける。

ふと、雑誌コーナーに目を向けると、表紙に「〇〇様ご提供の雑誌です」というプレート付の雑誌が並んでいる。雑誌スポンサー制度のおかげで新しい雑誌が入ったようだ。雑誌の種類が増えたうれしい。

お目当ての絵本を借りた子どもと、読書の記録帳を印字する機械に並ぶ。目の前の壁には館内広告掲示が増えてうれしい。

館内広告

来館者の目にとまりやすい出入口横の壁面に広告を出せます。現在、次の3社の広告を掲示しています。

扶桑電通株式会社秋田営業所
株式会社秋田スズキ
株式会社ダイヤプラザ



雑誌スポンサー

企業が新刊雑誌を図書館に寄贈し、雑誌の表紙に広告を掲載する制度。現在、明徳館では次の5社から9誌の提供を受けています。



秋田信用金庫
株式会社渡辺佐文建築設計事務所
株式会社至誠堂下山薬局本店
有限会社升谷商店
英会話スクールen

企画展示

季節や話題の出来事など、テーマに合わせて集めた本を館内各所に設置しています。例えば千秋美術館の企画展「尾張徳川家の至宝」期間中のテーマは「刀剣」と「茶道具」。また、入口付近のミニ展示スペースの令和2年のテーマは「入口タイムスリップ」で、日本の歴史の各時代を月ごとに紹介しています。



「シリーズ時代を語る ～編集者が語る舞台裏～」

開催日時：令和元年11月9日（土）午前10時～11時30分



令和元年11月9日に市民文化講座として「『シリーズ時代を語る』～編集者が語る舞台裏～」を開催しました。

講師は秋田魁新報社編集委員の鈴木亨氏。秋田魁新報で長寿連載となっている「シリーズ時代を語る」の取材の裏話や、記者として培ってきた取材経験、紙面を作っていく上での心構えなど、熱く語つていただきました。

講師は秋田魁新報社編集委員の鈴木亨氏。秋田魁新報で長寿連載となっている「シリーズ時代を語る」の取材の裏話や、記者として培ってきた取材経験、紙面を作つてていく上での心構えなど、熱く語つていただきました。

コーダーへ、重いフィルムカメラは、高画質で動画も撮影できるデジタルカメラへと移り変わつているそうです。正確でスピーディな取材形態になる一方で「時代を語る」の取材のように、語り手の人生の小さな出来事も見逃さない聞き取りや、登場する出来事の時系列の確認など、細心の注意が払われていることに驚きました。

参加者からも「毎日必ず読む連載。読みが深まりました」「盛りだくさんで引き込まれた」と感心の声が寄せられました。

話の中では取材に使用する「6つ道具」も登場。専用の原稿用紙と鉛筆はノートパソコンやICレ

令和2年1月30日、2月1日の両日、市民文化講座「地形で探る『久保田城下町ができるまで』」を開催しました。

講師は秋田スリバチ学会会長・柳山努氏。スリバチ学会は全国各地で高低差などの地形に着目し、町歩きを楽しむ団体です。柳山さんは様々な媒体で、地形から見た秋田の魅力を発信されています。

本講座でも、私たちが普段暮らしている秋田市に残る様々な歴史の痕跡が示され、会場では驚きと納得の声が上がつっていました。

立体地図や断面図は久保田城下町に高低差があることを示しています。高い方に商人町を、低い方に武士町を作つたことが判り、佐竹義宣公が秋田入部に際し何に配慮したのかが読み取れました。

また江戸時代と現在の地図を重ねると、道がそのまま重なります。私たちが今も義宣公の町割りの上で暮らしていることが伺えます。

「ぜひ今度町歩きがしたい」「地理が初めて面白いと思った」といった声も寄せられ、大盛況のもと終了となりました。

「地形で探る『久保田城下町ができるまで』」

開催日時：令和2年1月30日（木）午後1時30分～3時
令和2年2月1日（土）午前10時～11時30分



■ 夏休み親子講座

「Let's 俳句で 五・七・GO!」

開催日時：令和元年7月30日（火）午前10時～正午

夏休み中の小学生やその保護者を対象に、「Let's 俳句で 五・七・GO!」を開催しました。講師は俳人であり児童文学作家である、秋田市出身のおおぎやなぎちか氏。

秋田市（雄和地域）は、石井露月という著名な俳人を輩出したところであり、学校教育の中でも俳句に関する取組みが盛んです。また、ここ数年、テレビ番組の影響もあり、俳句に対する関心が幅広い年代で高まつておりました。そのような状況において、秋田市図書館で文学の講座を開催しました。この講座は、親子や友だちが二人一組で参加して、夏休み中の同じ思い出をテーマに俳句を作り、鑑賞しあうという内容。はじめに、俳句作りの基本、5・7・5の文字

数が生み出すリズムと、必ず季語を入れることについて教わり、次に、共通の思い出があつた日の簡単な日記を書いて思い出を呼び起こし、後は、少ない文字数でどこまで表現できるか、講師に質問しながら書いて、仕上がった俳句を大きな紙に書いて、みんなの前で発表。同じ思い出でも、それぞれの見所や感じ方の違いが際だって、俳句は奥が深くておもしろいと体験した2時間でした。

夏休みの間、講座の様子を紹介する展示とともに、来館者からも投句していただきました。



講師は、図書館での講座の様子も交えて俳句の本を作る予定とのこと。そちらもお楽しみに♪

「図書館前カフェ」ふたたび

竿燈祭り期間の令和元年8月3日（土）、4日（日）に開催した今年度の「図書館前カフェ」は観光客や市民の皆様に「石川達三記念室」をご案内するとともに、移動図書館イソップ号や図書館の各種事業のPRを行いました。

明徳館こんわいの協力で、エントランスには移動販売車もスタンバイし、来場者は飲み物を買って休憩したり、ミニ竿燈に触れてみたりして楽しんでいました。



「夏休み図書館ボランティア体験」講座

令和元年7月23日、小学生を対象にした「夏休み図書館ボランティア体験」を市民交流サロンと共に開催しました。当日は暑い中、17名の子どもたちが参加してくれました。1階児童コーナーの書架整理体験では、請求記号を確認しながら、返却本を正しい場所に戻してもらいました。明徳館で活動している書架整理ボランティアさんへインタビューもしてもらい、実際体験して疑問に思ったことなど、積極的に質問している様子を見ることができました。子どもたちからも、「本の返し方が分かった」、「自由研究の題材にする」などの声を聞くことができました。



令和元年度事業

中央図書館明徳館、フォンテ文庫で実施した事業を紹介します。

<p>こどもの読書週間資料展示 「本ではぐくむこどものこころ」 4/16～5/12 乳幼児の発達段階に合わせて、絵本を中心に展示。また、教科書に掲載されている小学生向けの本の紹介</p>	<p>「訪問おはなし会 -読書週間-」 4/23～5/10 10/28～11/8 ボランティアが市内の保育施設などを訪問し読み聞かせを実施</p>	<p>「明徳館子ども広場」 6/9 ボランティアによる、大型紙芝居「あまだればうやがんばる！」ブラックパネルシアター「おりひめとひこぼし」人形劇「あかずきん」などの上演</p>
<p>アニバーサリースペシャル 「フォンテぶんこありがとう8周年」 6/30 「くりっこ劇団」による人形劇「ももたろう」の上演。夏の工作会「さんさんフラワー」と「ストローコプター」の作成</p>	<p>「小学生の選書体験」 6/30、7/7、7/28 5、6年生の図書委員を中心に、学校図書室に置きたい本を選ぶ。</p>	<p>「中学生の選書体験」 6月～12月 司書が行っている選書と同様の手順で、本を選ぶ体験</p>
<p>資料展示 「調べ学習に役立つ 夏休みチャレンジコーナー」 7/17～8/25 夏休みの課題や自由研究の題材となるような図書の展示・貸出し</p>	<p>「図書館で本をさがそう！ ～子ども調べ物ステーション～」 7/20～7/26 子ども専用読書相談コーナーなどを設け、本の探し方などをアドバイス</p>	<p>「夏休み 図書館ボランティア体験」 7/23 市民交流サロン「夏休みマイファーストボランティア」と共催、書架整理体験など。</p>
<p>「子育て応援団 すこやかあきた2019 移動図書館特別出動」 7/28 イソップ号のPRと運転手体験など。</p>	<p>夏休み親子講座 「Let's 俳句で五・七・GO！」 7/30 講師：おおぎやなぎ ちか氏 (俳人・児童文学作家) 親子2人1組で、共有する夏休みの一日や出来事をテーマに据えて俳句作り体験</p>	<p>夏休み子ども講座 「切り紙でデザインする ステンシルマイバッグづくり講座」 8/1 布バッグに自分で切り抜いた紙を配置し、染色してオリジナルのマイバッグを作成する。</p>
<p>「図書館前カフェ」 8/3、8/4 図書館前でアメヤ珈琲の出店と移動図書館の展示</p>	<p>市民文化講座 「コスタリカから学ぶ平和」 8/24 講師：菊地 格夫氏 コスタリカについての話と映画「コスタリカの奇跡～積極的平和国家のつくり方～」の上映 (JICA東北と共催) 「あなたの知らない中米・コスタリカ展」 7/17～8/24 コスタリカに関する写真やパネルの展示 (JICA東北と共催)</p>	<p>資料展示 「秋田県信用組合寄贈」 11/6～1/13 秋田県信用組合からの寄附金で購入した大型絵本や紙芝居などの展示</p>
<p>市民文化講座 「『シリーズ時代を語る』 ～編集者が語る舞台裏～」 11/9 講師：鈴木 亨氏(秋田魁新報社編集委員) 秋田魁新報で連載中の「シリーズ時代を語る」、その制作の舞台裏を紹介</p>	<p>読書週間企画資料展示 「平成文芸ベストセラーズ」 10/16～11/17 平成元年からの30年間のベストセラーや文芸賞受賞作などの展示</p>	<p>「フォンテぶんこ ウィンタースペシャル」 12/8 人形劇「おおかみと7ひきのこやぎ」などの上演や、「クリスマスカードとリース」の作成</p>
<p>「明徳館冬の子ども広場」 12/15 ボランティアによる大型絵本「バスでおでかけ」、ブラックパネルシアター「うさぎのはらのクリスマス」、人形劇「てぶくろ」などの上演</p>	<p>市民文化講座 「地形で探る『久保田城下町ができるまで』」 1/30、2/1 講師：柳山 努氏(秋田スリバチ学会会長) 地形図・絵図・地図・現在の写真などから、佐竹氏が秋田市の地形をどのように利用し城下町を作ったのかを読み解く。</p>	<p>「図書館のお仕事たいけん」 2/23 児童コーナーの書架整理、おすすめの本の展示コーナー作り、絵本や紙芝居の読み聞かせを体験</p>